

# 単元名 「ライフキャリアプランを立てよう」（第3学年 自己実現にむけて）

## ■本事例のポイント

- 1.体験や外部講師と関わる機会を取り入れることで、中学卒業後の進路選択だけでなく、それ以降のライフキャリアに注目できるようにした。
- 2.生徒同士の学びを共有しやすい環境を整えることで、他者の考えを参考にし、学習を調整しやすくした。

## ■単元の目標

ライフキャリアプランの作成を通して、様々なライフイベントについて理解し、自らの進路やキャリアについて考えるとともに、よりよい自己実現に向けて自らの生活や行動に生かすことができるようとする。

## ■単元の指導計画（8時間）

### 第1小单元

#### 「ライフイベントとは何かを考えよう」

- ・すくろくを用いて、35歳までのライフキャリアを体験し、ライフイベントについて学ぶ。
- ・偉人たちのライフイベントを調べ、なぜその選択をしたのか、どんな考えがあったのか理解を深める。

### 第2小单元

#### 「自分のライフキャリアプランを考えよう」

- ・自分たちの将来を見据え、50歳までのライフキャリアプランを立てることができる。
- ・自分が何を大切に生きていくか考えることができる。

## ■本時の概要

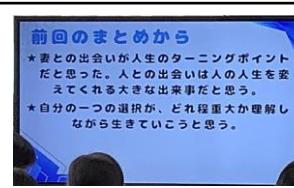
めあて ライフキャリアプランを考え、進路を深く考えよう。

	15歳 進学	20~25歳 4年生大学進学	25~29歳 マイホーム購入	30~35歳 出産	ここから削除
例	○高校高専への進学 受験資格を得て受験し、5になりたいといふ。大学カレッジへの進学(選り)して入学を決意。 ○15歳(高校3年生) 体育競技を目標とする。実績、才半才分、より才能あり、現地競技への出場を決意。また、現地競技への出場を目標とする。現地競技での出場を目標とする。現地競技での出場を目標とする。	○23歳～ 学校の先生として働き始める 大学4年生、就職も、自分の人生は多くの先輩に頼らなくていいから、適性を發揮。 ○24歳～ 25歳～ そもそも25歳までに結婚したいという目標が立った。恋の運び、運び、運びが結婚のため手。	～29歳 働きたい 自分の父親が大工なので、家を建ててもらうことが夢である。 ～30歳 子供がいたいと感じる 実現や現実に向く、子供の成長をさせたいと想 う。妻の二年後がいいから、現実に現実が現 れ面白いと思ふから。 ～33歳 實現体験を積みたい できることはたくさんあります。できるう ちにやってみたいと思う。		
1					

イメージしやすい生徒が、ライフキャリアプランを立てやすいように、ライフイベントを選んで作成する形式にしました。



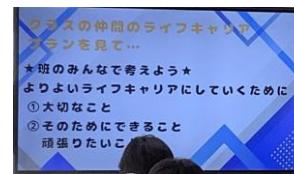
- ① 前時のまとめから  
ライフイベントを選択する上で何が  
大切な考える。



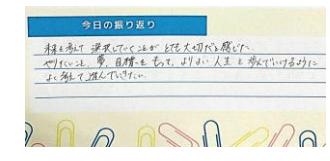
- ② 自分でライフキャ  
リアプランを作成  
していく。



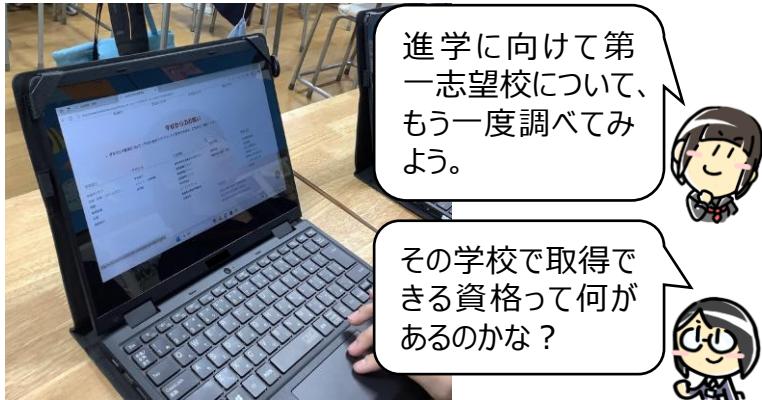
- ③ 仲間の考え方を参  
考に、よりよいラ  
イフキャリアプラン  
を考える。



- ④ 今日の振り返り  
をワークシートに  
記入する。



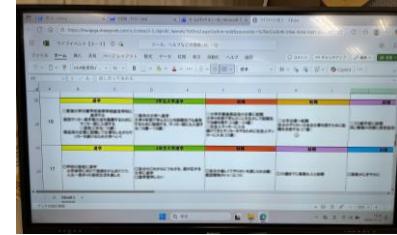
## ■学習調整をしている子供の姿



## ■指導と評価の工夫

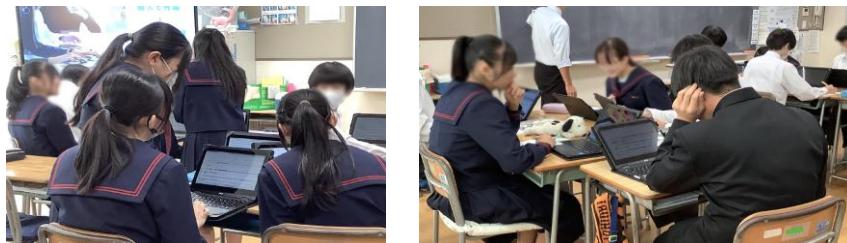
### ①電子黒板上で、活動の様子を共有

- \* 共有ファイルのため、生徒は他者の考えを知ることができ、自分の考えのアップデートに生かせる。
- \* 例を示しながら指示ができる、即座に支援や評価ができる。



### ②目的に応じて学習形態を選択

- \* ライフキャリアプランを作成する際に、最初は個人で考え、次に自分で取り組む場を選択できるようにする。
- \* 「よりよいライフキャリアしていくために」を考える場面では、積極的な意見交流を促すため、グループで考えるようとする。



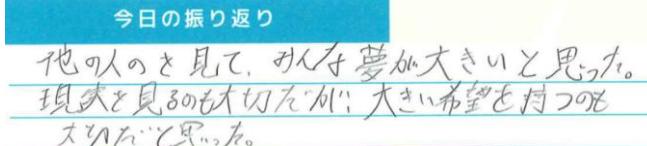
### ③本時の振り返りによる見取り（ワークシート）

- \* 考えが深まることや新たな気付きが生まれたことを記入する。

## ■成果（○）と課題（▲）

○中学3年生という、多くの生徒にとって、初めて進路を真剣に考える時期に、更にその先まで見据えたライフキャリアプランを考える機会となつた。その際、他者との交流から、自身のライフキャリアプランを見つめ直す生徒もいた。

▲中学生の段階で、30歳～50歳のイメージをもつことはまだ難しそうであった。その時期を見据えた単元構想も考えていきたい。



他の人の考え方を参考し、新たな気付きが生まれたね。

